

第三者評価結果報告書

| 総括 | |
|---|-----------------------|
| 対象事業所名 | アスク南林間保育園 |
| 経営主体(法人等) | 株式会社 日本保育サービス |
| 対象サービス | 認可保育所 |
| 事業所住所 | 〒242-0003 大和市林間1-3-27 |
| 設立年月日 | 平成25年7月1日 |
| 評価実施期間 | 平成26年12月～27年5月 |
| 公表年月 | 平成27年4月 |
| 評価機関名 | ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部 |
| 評価項目 | 横浜市版 |
| 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等） | |
| 【施設の特徴】 | |
| 1. 立地及び施設の概要 | |
| アスク南林間保育園は、平成25年7月1日に開園した新しい園です。生後57日目以降から就学前児童を対象として定員は60名で、現在74名が在籍しています。園は、小田急江ノ島線南林間駅東口から徒歩3分ほどの利便性の良い住宅地にあります。園舎内には地域支援サービスのための一時保育室や屋上園庭も整備しています。園周辺は古くからの住宅や新しいマンションが混在する地域ですが、各年齢に応じた目的の設定がしやすい公園があり、散歩や園外活動に利用しています。 | |
| 2. 保育の特徴 | |
| 設置法人グループ内から派遣される専門講師による英語、体操、リトミック教室の保育プログラムがあり、子どもたちは異文化に触れたり、思い切り体を動かしたり、音楽に合わせて自由な表現活動を楽しんでいます。 | |
| 【特に優れていると思われる点】 | |
| 1. 食への関心を育む取り組み | |
| 食への興味関心を育むための野菜の栽培・収穫やクッキング保育は、計画に基づいて進めています。ピーマン、ラディッシュ、ジャガイモ、大根など子どもたちが水やりや間引きをして大切に育て、収穫した野菜の中で大根は田楽、ジャガイモはフライドポテトにして食べました。その他クッキング保育では、クッキーやロールケーキ作りにも挑戦しています。毎回調理担当職員手作りのデコレーションケーキで祝う誕生日会を子どもたちは楽しみにしています。保護者にもケーキの写真を掲示して情報提供しています。また、保育参加行事では親子クッキングを開催し、リースパンづくりを楽しんでいます。子どもや保護者など132名が参加し、保護者アンケートにも好評な感想が多数寄せられています。 | |
| 2. アンケートに寄せられた保護者の意見、質問への丁寧な対応 | |
| 園の取り組みへの理解促進や保護者からの意見抽出などを目的に、入園進級お祝い会、親子ふれあい遊びなど、ほぼ毎月行っている園行事や運営委員会の後にはアンケートを実施しています。保護者からは「親子で楽しめた」「家庭でも参考にしたい」など好意的な感想のほか、開催 | |

日時や行事の進行上の不手際に対する指摘などもあり、それらの結果をフィードバックし、寄せられた意見や要望を次回に活かしていくことも併せて伝えていきます。また、試食会開催の折には、箸のしつけ方、偏食についてなど事前の質問を受け付けています。それらの質問については、試食会で栄養士から直接回答後、書面で玄関掲示も行っています。

3. 地域ニーズに即した一時保育サービスの提供

核家族での子育てや保護者が短時間のパート勤務をしているなど、地域の子育て支援ニーズに対応できるように、一時保育を実施しています。1歳児からの受け入れで現在50名ほど登録しています。一時保育担当の職員を配置し、専用の保育室で子どもは過ごすほか、園児たちと交流する機会も作っています。1日の定員は8名ですが、キャンセル待ちが出ることもたびたびあります。利用者からの評判が口コミで広がっており、地域ニーズに即したサービスとなっています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 職員の勤務の継続化、安定化

開園2年目ですが、職員の異動・退職が続くことについて、今回の第三者評価での利用者家族アンケートには子どもへの影響の大きさを不安視する声が寄せられています。職員の勤務の継続化、安定化について検討されるとともに、スーパーバイズのできる職員を配置し、園長と連携を図りながら職員の質の向上や課題解決に取り組むことが望まれます。

2. 子育て支援サービス提供のさらなる検討

園児学者、一時保育利用者、大和子育て応援フェスタ開催時に育児相談を受け、地域ニーズの把握に努めていますが、定期的な相談日を設けての対応はありません。地域に向けた育児相談の実施が期待されます。また、子育てや保育に関する講習や研修会の開催についても検討が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

| | |
|----------------|--|
| <p>1.人権の尊重</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置法人の4項目からなる運営理念と子どもの「自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育、「五感で感じる保育」の充実を基本方針として掲げており、子ども本人を尊重したものとなっています。園は独自の目標を「心身ともに健康で感性豊かな子」「思いやりのある子」「自分で考え行動できる子」とし、保育にあたっています。職員は、子どもが何をしたいのか、どのように進めたいのかを見守りながら、必要なことは十分に説明し、子どもが納得して主体的に取り組むことを大切にしています。 ・ 職員は、守秘義務の意義や目的について、入社時の研修で説明を受け誓約書を提出しています。実習生には事前のオリエンテーションの中で説明をしています。設置法人が作成した個人情報取扱ガイドラインがあり全職員に周知を図っています。 ・ 大和市こども部保育家庭課と連携し、助言や情報が得られる体制をとっています。 ・ 園で使用する帽子の色はクラス別に男女同一色で、遊びや行事の際にも性別による区別をしていません。母の日、父の日の行事は廃止し、父親・母親の役割を固定的にとらえるような話をしないよう配慮しています。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程は、今年度は、教育欄にリトミックや体操教室を追加しています。子ども一人一人の自主性を見守りながら子どもに寄り添い、基本方針に沿 |

2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

ったサービスを提供するために、前年度の反省をふまえた年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。職員は、子どもの意見や意思を取り入れるため柔軟性をもった計画にしています。

- クラス担任同士で指導計画の練り直しなどを行っています。職員会議で子どもの発達状況を話し合い、必要に応じて園長が助言しています。
- 保育室内を仕切り、食事と午睡の場を分けています。室内は低いロッカーやマットを利用して、コーナーを作り、遊びの内容によって保育室の使い方を工夫しています。合同保育時は、1歳児クラスを使用しています。時には2、3、4歳児保育室を仕切る壁（パーティション）を取り払い、異年齢交流を行う場としています。
- 園庭でピーマン、大根、ジャガイモなど育てています。青虫から蝶になるまで育てたり、ホタルの観察をしたこともあり、栽培や飼育の体験を通して生き物を大切にす気持ちや命の大切さを子どもたちは自然に学んでいます。天気の良い日はできる限り散歩、園庭遊びを行っています。季節によっては夕方外で遊んでいます。固定遊具や広場、アスレチックなど年齢や目的に応じて公園を選んでいきます。
- 設置法人の専門講師による「リトミック」「体操教室」「英語教室」プログラムがあり、年齢に応じたものを計画実施しています。
- 職員は子どもの食事の様子やペースを見ながら、個々に対応しており無理強いすることはありません。乳児には食具の使い方も教えながら、手づかみで食べても、自分で食べようとする意欲を大切にしています。
- 2歳児クラスから当番活動やクッキング保育を通して食への興味関心を育てています。クッキング保育では、野菜を炒めることや、ロールケーキ作りなど計画に基づいて進めています。
- 保護者に対しては年に1回試食会を開催し、園での味付けや食事の内容、様子を知ってもらう機会としています。試食会出欠の提出用紙に記入してもらった質問に関する栄養士からの回答を玄関に掲示しています。
- 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、職員は布団の上で横になって体を休めるように言葉をかけたり、絵本を見せるなどの働きかけをしています。
- 排泄状況について、乳児は個別連絡ノートで保護者と連携しています。園では活動の区切りにトイレへ行く生活リズムになっていますが、自分のペースでも自由に行っています。
- 配付物、掲示物での情報提供のほか、お迎え時にはその日の子どものエピソードや体調の変化などを職員は口頭で保護者に伝えるようにしています。親子クッキングでは、リースパンづくりを楽しんでいます。子どもや保護者など132名が参加、保護者アンケートにも好評な感想が多数寄せられています。

- 0～2歳児には個別の保育連絡ノートがあります。0、1歳児クラスは主担

3.サービスマネジメントシステムの確立

当保育者がある日の子どもの様子などを細かく記載して保護者との連携を密にしています。3歳児以上はクラスごとに活動記録（ノート）にて1日の様子を伝えています。

- 入園時に把握した生育歴を始め、入園後の子どもの成長発達記録は、児童票、健康調査票、身体測定表に記録し、個別にファイルしています。記録は事務室の書庫に保管し、全職員が共有できるようにしています。進級時には、児童票を基に、新旧の担任で申し送りを行っています。
- 職員会議の中で配慮が必要な子どものケース会議を行い、配慮点や関わり方が適切かどうか話し合っ、議事録に記録しています。毎日の昼礼でもその都度情報を共有することで保育に反映しやすい体制をとっています。社内研修で得た最新の情報を基に職員会議で話し合い、日々の保育に活かしています。
- 食物アレルギーのある子どもの一時保育利用前日には園長と栄養士でメニューを確認しています。提供時は職員がかたわらにつき、誤食のないようにしています。
- 運営委員会、クラス懇談会や個人面談、行事後にアンケートを実施して、保護者からの意見や要望の把握に努めています。園のみで解決できない場合は設置法人や大和市こども部保育家庭課保育担当との連携体制ができています。
- 健康管理・衛生管理・安全管理に関する各マニュアルを整備し、マニュアルに基づいた対応や訓練を行っています。大和警察署、大和消防署、嘱託医などの連絡先や大和市認可保育園連絡網を事務所内に掲示しています。保護者の携帯番号を園のパソコンに登録してもらい、緊急時には一斉送信できるようにしています。

4.地域との交流・連携

- 園見学者や一時保育利用者、大和市主催のやまと子育て応援フェスタ時の育児相談に対応し、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。
- 一時保育を実施し、約50名の登録者があり1日定員8名を受け入れています。
- 散歩の際には商店主や道で行き交う地域の人々と職員や園児が挨拶を交わしています。「やまとげんきっこアートフェスティバル」に年長児が製作した卵の殻アート（製作過程の写真付）を出展したほか、大和市林間学習センターで開催されたクリスマス会に土曜保育の子どもたちが参加し、人形劇などを鑑賞しました。
- 園利用希望者からの利用条件やサービス内容についての問い合わせに対しては、園長がパンフレットに沿って説明しています。利用希望者からの電話での見学申込に対しては積極的に対応しています。

- 園の中長期的な方向性を職員会議で話し合い、平成25年度～29年度までの長期計画を策定しています。計画として「安心できる環境の中で、意欲と豊かな感性や人を思いやる心が育つ温かい保育」「一人ひとりの要求や欲求に柔軟に応じられる保育を目指します」「保護者との共通理解で連携

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p> | <p>を大切にする」を掲げています。26年度の計画の中で、一時保育の受け入れは特に地域ニーズに根差しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今年度は、開園から2年目であり、園長は園の土台作りの時期と考え、理念・基本方針と実際の保育との関係については、職員会議などで機会あるごとに園長が説明し、職員の理解を確認しています。 • 職員が守るべき法・規範・倫理などは保育園業務マニュアルや就業規則で明文化されており、全職員は入社時研修により周知しています設置法人にコンプライアンス委員会があり、園と職員を指導し、あわせて不正などを直接通報できるしくみを整えています。 • 設置法人のホームページで園の経営、運営状況を公開しています。 • 設置法人の組織として、複数の園を統括するエリアマネージャーや企画・人事管理・研修担当などの部門があり、法人としての事業推進の様々な課題について取り組んでいます。 • 設置法人で主任育成のための階層別研修があり、計画的に育成を行っています。 |
| <p>6.職員の資質向上の促進</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 園長は園運営に必要な人材や配置状況を把握し、不足の場合は設置法人に要請して人材補充を行っています。 • 年間指導計画の期（年4期）ごと、月間指導計画、週案、保育日誌に評価反省の記入欄があり、保育実践の振り返りを記入できるようになっています。職員は子どもの成長に合わせて指導計画を立て、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを確認しながら指導を継続するなど翌月の計画に反映させるよう努めています。 • 設置法人の「保育士人材育成ビジョン」に基づき、人材の育成に取り組んでいます。職員は個人別年間研修計画および自己査定シートを基に年2回評価を行い、園長・エリアマネージャーとそれぞれ面談し、達成度を確認して次年度計画につなげています。 • 設置法人が階層別研修と自由選択研修の年間計画を作成し、職員は個々に年間研修計画を作成して研修に参加しています。職員は半年ごとに達成度を自己評価し園長が面接を実施して助言しています。園長が毎月テーマを決めて実施する園内研修のうちマニュアルに関する園内研修には非常勤職員も交代で参加しています。 • 実習生受け入れの際は、本人及び学校担任とも面談し、効果的な実習ができるようにプログラムを工夫しています。 |

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類

I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



評価の理由（コメント）

・設置法人の4項目からなる運営理念と子どもの「自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育、「五感で感じる保育」の充実を基本方針として掲げており、子ども本人を尊重したものとなっています。園は独自の目標を「心身ともに健康で感性豊かな子」「思いやりのある子」「自分で考え行動できる子」とし、保育にあたっています。

・今年度は、開園から2年目であり、園長は園の土台作りの時期と考え、年度初めの職員会議は特に意識をして理念や基本方針を話し合い理解を深めるよう努めています。

・保育課程は、子どもの健全な育ちを中心に、就労時間が長い保護者や駅から近く住宅地という地域の環境を考慮しながら作成しています。常勤職員を中心に年度末に新年度に向けての見直しを行っています。今年度は、教育欄にリトミックや体操教室を追加しています。保護者には入園進級お祝い会で、保育課程を基盤にした各クラスの年間指導計画・月間指導計画への流れがあることを説明しています。

・前年度の反省をふまえた年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。職員は、子どもが何をしたいのか、どのように進めたいのかを見守りながら、必要なことは十分に説明し、子どもが納得して主体的に取り組むことを大切にしています。子どもの意見や意思を取り入れ、柔軟性をもった計画にしています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・入園前に園長が中心となり、子どもによっては栄養士も加わって親子面接を行い、子どもの様子や親子の雰囲気などを観察しています。面談で得た情報や留意点などを記入した入園前面談シートは、事前提出書類と一緒に個人別にファイルし、全職員が日々の保育上、必要に応じて確認できるようにしています。食事、睡眠、排泄などは即保育に反映し、園生活を無理なく始められるようにしています。
- ・入園前の面談で短縮保育の必要性について説明をしています。保護者の就労状況など考慮し、一時保育利用も活用して、保育時間、期間など無理のないように設定しています。
- ・タオルやぬいぐるみなどの持ち込みは自由で、少しずつ慣れていくようにしています。
- ・0～2歳児には個別の保育連絡ノートがあります。0、1歳児クラスは主担当保育者がその日の子どもの様子などを細かく記載して保護者との連携を密にしています。3歳児以上はクラスごとに活動記録（ノート）にて1日の様子を伝えています。
- ・進級時には、複数担当職員の一人が持ち上がりになることや、16時からの合同保育時に担任以外の職員にもよくみてもらうなど全職員で在園児の不安を少なくする配慮をしています。
- ・クラス担任同士で指導計画の練り直しなどを行っています。また、職員会議で子どもの発達状況を話し合い、必要に応じて園長が助言しています。
- ・年2回の個人面談やクラス懇談会、運営委員会、保育連絡ノート、アンケート等で寄せられた意向や意見を計画に取り入れるようにしています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・園舎内は衛生マニュアルやチェック表に基づいて沐浴、シャワー設備も含め、遅番の職員が中心となって毎日清掃をしています。
 - ・各保育室に空気清浄機を設置していますが、窓を開けてのこまめな換気を行っています。温湿度計にて午前・午後計測し、日誌に記録しています。トイレや保育室の一部の壁は臭いや湿気を防ぐ壁材を使用しています。
 - ・保育室の窓は大きく、陽光を取り入れることができます。
 - ・職員は必要以上に大きな声を出さないように注意しています。
 - ・低いロッカーやマットを利用して、コーナーを作り、小さなグループで遊べるよう保育室の使い方を工夫しています。
 - ・保育室内を仕切り、食事と午睡の場を分けています。
 - ・合同保育時は、1歳児クラスを使用しています。2、3、4歳児保育室を仕切る壁（パーテーション）を取り払い、異年齢交流を行う場としています。
- <コメント・提言>
- ・低いパーテーションや衝立の活用など、保育室で子どもがさらに落ち着いて過ごせるような工夫が期待されます。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・3歳未満児については個別指導計画を作成しており、幼児についても特別な課題や援助が必要な場合には個別指導計画を作成しています。それらは担任が作成し、園長の意見も考慮しています。また個別の課題がある場合は職員会議で共通事項として話し合い、ほかの職員からの意見も参考に柔軟に変更、見直しを行っています。

・週案を事務所に掲示し、全職員で共有できるようにしています。

・保護者には個別指導計画の作成や見直しにおいて、離乳食の進め方やトイレトレーニングなど子どもの状況に合わせて説明し、同意を得ています。

・年度末には、園長が市役所に保育所児童保育要録を持参しています。小学校と連携し、書面だけでなく、教員の来園があり情報交換しています。

・入園時に把握した生育歴を始め、入園後の子どもの成長発達記録は、児童票、健康調査票、身体測定表に記録し、個別にファイルしています。0～2歳児は毎月、3～5歳児は3か月ごとに発達状況を確認しています。記録内容は書庫に保管し、全職員が共有できるようにしています。進級時には、児童票を基に、新旧の担任で申し送りを行っています。

<コメント・提言>

・一部の指導計画が同一の作成になっています。子ども一人一人の発達過程や状況を十分踏まえた個別指導計画の作成が期待されます。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



・職員会議の中で配慮が必要な子どものケース会議を行い、配慮点や関わり方が適切かどうか話し合い、議事録に記録しています。毎日の昼礼でも情報を共有することで保育に反映しやすい体制をとっています。必要時には設置法人の発達支援アドバイザー、大和市こども部保育家庭課発達支援担当から指導、助言を受けています。また、社内研修で得た最新の情報を基に職員会議で話し合い、日々の保育に活かしています。

・開園から障がいのある子どもの受け入れはありませんが、障がいの特性や障がい児保育について職員間で学ぶ機会を設け、すべての職員が同じ認識を持って保育にあたる体制があります。また、設置法人の階層別研修では発達支援の研修を受けています。

・虐待が明白になった場合、疑われる場合は、大和市こども部保育家庭課家庭こども相談担当と相談できるよう連携体制を整えています。毎日子どもの健康観察や、心理面での気づきを全職員が意識しています。見守りが必要な場合は昼礼ノートやスタッフノートで周知しています。支援が必要な保護者の置かれている状況や状態を理解し、毎日一言でも声を掛けるよう努めています。

・職員はアレルギー疾患に関する内部研修を行い、アレルギーについての知識を得ています。現在は、一時保育の食物アレルギー児の利用前日に園長と栄養士でメニューを確認しています。提供時は職員が傍らにつき、誤食のないようにしています。

・文化や生活習慣など考え方の違いを受け入れ、対応が困難な場合は設置法人と検討する体制があります。保護者に対しては、翻訳サイトを使用してお知らせ等を配慮しています。子どもたちには、英語教室で異なる言語や文化の違いに接する機会を設けています。国旗や絵本を用いて日本以外の国があることを伝えています。

評価分類

評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制



・要望、苦情受付の担当者は園長であり、玄関に掲示しています。

・第三者委員2名の氏名と連絡先を「入園のご案内」（重要事項説明書）に明記し、玄関に掲示しています。

・玄関に意見箱を置き、行事や懇談会の後に保護者アンケートを行い、意見や要望の把握に努めています。アンケートの結果を玄関に掲示して、フィードバックしています。園長は送迎時に保護者に積極的に声をかけ、要望を聞くように心がけています。

・他機関の苦情解決窓口の紹介は、パンフレットに大和市こども部保育家庭課保育担当を案内しています。

・苦情を受けた場合は、苦情対応マニュアルに基づいて対応し、第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。

・過去の苦情・トラブルはクレーム受理票に記録として残し、解決に活かすこととしています。

・園のみで解決できない場合は設置法人や大和市こども部保育家庭課保育担当との連携体制ができています。

<コメント・提言>

・苦情受付担当者・解決責任者については「入園のご案内」の記載と園玄関にある掲示物は統一し、整合性のある表記とすることが望まれます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類

Ⅱ-1 保育内容[遊び]



評価の理由（コメント）

- ・開園から2年目を迎え、少しずつ絵本やおもちゃが増えており、子どもの発達や興味関心、季節などに合わせて入れ替えています。指先の機能を使う遊び、積木、ブロックなどの構成遊びを年齢ごとにグレードをあげています。
 - ・マット、机などで遊びに合わせてコーナーを作り、子どもが絵本やおもちゃを自由に取り出して遊べるようにしています。
 - ・乳児は順番を守るという簡単なことから、幼児には、鬼ごっこやドッジボールなどルールのある集団遊びを一斉活動に取り入れ、自分たちでルールを決め遊びを発展させています。
 - ・園庭でピーマン、大根、ジャガイモなど育てています。青虫から蝶になるまで育てたり、ホタルの観察をしたこともあり、栽培や飼育の体験を通して生き物を大切にする気持ちや命の大切さを自然に学んでいます。散歩時に地域の公園内や住宅の庭先の四季折々の木や花の変化を感じています。
 - ・子どもがブロックなどで作って遊んでいる途中の作品は、棚の上に保管しています。子どもは覚えた歌を自由に歌ったり棚から自由画帳やクレヨンを出して絵を描いています。
 - ・活動内容や生活時間帯によって異年齢の子ども同士の関わり合い、育ちあいの場を設けています。トラブルがあったときもすぐ職員が介入せず、お互いの気持ちを伝えあい分かろうとする力を育てるため見守っています。うまく言葉で伝えられない子どもには職員が気持ちを代弁したり、解決策を提案しています。
 - ・天気の良い日はできる限り散歩、園庭遊びを行っています。季節によっては夕方も外で遊んでいます。固定遊具や広場、アスレチックなど年齢や目的に応じて公園を選んでいきます。リトミックや体操教室も1歳児クラスから発達段階に合わせて行っています。
- <コメント・提言>
- ・会議などを通して、職員が子どもとの信頼関係を構築するための公平で温かい態度、言葉遣いなど再度確認することが期待されます。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



・職員は子どもの食事の様子やペースを見ながら、個々に対応しており無理強いすることはありません。乳児には食具の使い方も教えながら、手づかみで食べても、自分で食べようとする意欲を大切にしています。

・2歳児クラスから当番活動やクッキング保育を通して食への興味関心を育てています。クッキング保育では、野菜を炒めることや、ロールケーキ作りなど計画に基づいて進めています。

・季節感を大切にし、旬の食材を使用しています。毎月行事や季節に因んだメニューがあります。誕生日会には調理担当職員手作りのデコレーションを工夫したケーキで祝っています。

・各クラスとも食事をする場と午睡の場とを区別して、食事の場としての雰囲気作りに努めています。幼児クラスは園庭など場所を変えて食事を楽しむ機会も取り入れています。

・食材の産地を保護者向けに掲示し、安全性を伝えていきます。

・栄養士が保育室に行ったり、5歳児クラスの隣の調理室から、ガラス戸越しに子どもたちの喫食状況を見ています。毎月栄養士、園長、クラスリーダーによる給食会議を開き、子どもの嗜好を把握、確認しています。出された意見は栄養士のエリアミーティングで報告し、献立や調理の工夫に活かしています。

・献立表は月末に保護者に配付しています。献立のポイントは給食だよりに記載し、玄関にサンプルを展示しています。レシピ用紙は持ち帰れるようにしています。年に1回試食会を開催し、園での味付けや食事の内容、様子を知ってもらう機会としています。試食会出欠の提出用紙に記入してもらった質問に関する栄養士からの回答を玄関に掲示しています。

・眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、職員は布団の上で横になって体を休めるように言葉をかけたり、絵本を見せるなどの働きかけをしています。

・排泄状況について、乳児は個別の保育連絡ノートで保護者と連携しています。園では活動の区切りにトイレへ行く生活リズムになっていますが、自分のペースでも自由に行っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[健康管理]



・入園前に保護者に健康調査票を提出してもらい、既往症や予防接種歴を把握しています。登園時の観察と保護者からの聞き取りにより、前日の欠席理由や当日朝の健康状態を把握し、昼礼で情報共有を図り、園での子どもの健康状態を0～1歳児は生活記録簿に、2歳児以上はクラス伝達記録票などに記録し、必要に応じて保護者に伝達しています。

・嘱託医による健康診断を年2回、歯科健診は年1回実施し、結果をクラスごとに保管するとともに内科健診・歯科健診結果用紙を使用して保護者に伝達しています。

・登園停止基準や保育中に感染症などの疑いが生じた場合の対応が明記された、設置法人作成の感染症・食中毒対応マニュアルがあり、「入園のご案内」に記載するとともに園説明会や保護者ミーティングで説明して周知しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[衛生管理]



・設置法人作成の保育園衛生マニュアルがあり、入社時研修で職員に周知するほか、園内研修で読み合わせを行っています。清掃は遅番の職員が中心となって実施し、清掃記録表に記録しています。0～1歳児のおもちゃは毎日、2歳児以上のおもちゃは毎週土曜日に消毒しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 管理[安全管理]



・設置法人が作成した安全管理マニュアルがあります。備品には滑り止めシートや固定器具を使って転倒防止策が講じられています。保護者の携帯番号を園のパソコンに登録してもらい、緊急時には一斉送信できるようにしています。また、消防計画に基づいて火災や地震を想定し、毎月訓練を実施しています。

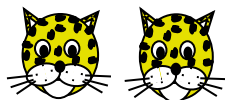
・子どものケガは小さなケガであっても必ず園長に報告し、担任または園長が保護者に直接伝え、記録しています。ドアに手を挟んだり、手が抜けたなどの事故やケガはアクシデントレポートに記載し、設置法人や大和市保育家庭課に報告し、職員会議の議題にして再発防止を検討しています。

・玄関は電子錠で管理し、来園者はモニターで確認後に解錠しています。平成26年8月に「神奈川県くらし安全委員会」職員による不審者対応研修を園内で実施し、常勤職員が参加しました。また、平成27年3月には不審者対応訓練を実施しました。

評価分類

評価の理由（コメント）

Ⅱ-3 人権の尊重



・職員は子どもに対し、集団の中で激しく叱ったり、否定的な言動をしないように注意し合っていますが、一部のクラスで強い口調で指示をする場面が見受けられます。

・保育室を低い棚で仕切り、コーナーも設置しているので、子どもが視線を意識せずに過ごせるスペースがあります。子どもや保護者のプライバシー保護について必要時は事務室や一時保育室などの空いている部屋を使用しています。

・職員は、守秘義務の意義や目的について、入社時の研修で説明を受け誓約書を提出しています。実習生には事前のオリエンテーションの中で説明をしています。設置法人が作成した個人情報取扱ガイドラインがあり全職員に周知を図っています。入園のご案内（重要事項説明書）に記載された個人情報取扱について、内容を入園時に保護者に説明しています。個人情報に関する書類は、事務所の施錠できる書庫に保管し、園外への持ち出しを禁止しています。

・園で使用する帽子の色はクラス別に男女同一色で、遊びや行事の際にも性別による区別をしていません。母の日、父の日の行事は廃止し、父親・母親の役割を固定的にとらえるような話をしないよう配慮しています。

<コメント・提言>

・職員の命令的な口調や否定的な言動を回避して、子どもの人格を尊重した言葉遣いや態度を一人一人の職員が心がけるよう検証し合うことが望まれます。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



・職員は、お迎え時にその日の子どものエピソードや体調の変化などを口頭で保護者に伝えるようにし、0～2歳児の保護者とは保育連絡ノートでも情報交換をしています。

・保護者からの日々の相談は、先ず担任が対応し、内容によって園長が同席しています。個別面談時の相談内容は「面談記録」に残しています。

・園だより、クラスだより、給食だより、ほけんだよりを毎月、保護者に配付しています。食農だより、リトミックだより、英語だよりは、毎月、事務所前に掲示しています。運営委員会後に日常の保育の様子のビデオを上映する会を開催したり、日中の子どもの様子を撮影し業者を通じてネット販売しています。

・年度初めに年間行事予定表を保護者に配付しています。親子参加の行事は土・日・祝日に開催し、大部分の保護者が参加しています。

・開園して間もないため、未だ保護者組織はありません。

<工夫事例>

・5月の親子ふれあい遊びは、なでしこジャパンOBの大和市職員を講師に迎えてブラジル体操や、ボール遊びを乳児・幼児別に開催しています。12月の親子クッキングでは、クリスマスにちなんでリースパンづくりを楽しみ、子どもや保護者など132名が参加、保護者アンケートにも好評な感想が多数寄せられています。

<コメント・提言>

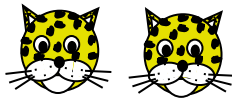
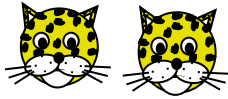
・行事後アンケートの活用などにより、保育方針が保護者に理解されているかどうかを把握すること望まれます。

・保護者の自主的な活動への場所の提供や職員の参加および保護者の自主的な活動への援助が望まれます。




・「Ⅱ-4 保護者との交流・連携」で保護者組織がなく連携が取れないためC評価になりましたが、他項目の、保護者との日常的な連携などは積極的に行っています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


| 評価分類 | |
|-----------------------------------|---|
| Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 | <ul style="list-style-type: none">・園見学者や一時保育利用者の育児相談に対応し、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。・一時保育を実施し、約50名の登録者があり1日定員8名を受け入れています。園内での地域住民に対する講習会は開催できていません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none">・園の専門性を活かし、地域住民に対する講習・研修会の開催が期待されます。 |
| Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能 | <ul style="list-style-type: none">・開園間もないため定期的育児相談日を設けていません。・大和市保育家庭課に定期的に連絡をして情報交換を図っているほか、大和警察署、大和消防署、嘱託医などの連絡先や大和市認可保育園連絡網を事務所内に掲示しており、園長が関係機関との連携の担当者となっています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none">・定期的な育児相談日を設けることが望まれます。 |

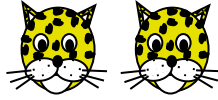



評価領域Ⅳ 開かれた運営

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|--|
| <p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <p>・園の行事の夏祭りには、近隣住民や一時保育利用者を招待しています。大和市主催の「やまと子育て応援フェスタ」や「やまとげんきっ子アートフェスティバル」の打ち合わせ会議で地域の団体や機関と関わりを持っていますが、地域への施設開放や備品の貸出は未だ実行していません。</p> <p>・大和消防署を見学したり林間小学校体育館で運動会を開催したり大和市保健福祉センターホールを利用して生活発表会を開催しました。また、散歩の際には商店主や道で行き交う地域の人々と職員や園児が挨拶を交わしています。「やまとげんきっ子アートフェスティバル」に年長児が制作した卵の殻アート（製作過程の写真付）を出展したほか、大和市林間学習センターで開催されたクリスマス会に土曜保育の子ども達が参加し、人形劇とブラックシアターを鑑賞しました。</p> <p><コメント・提言></p> <p>・地域への施設開放や備品等の貸出を検討することが期待されます。</p> |
| <p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  | <p>・園のパンフレットに園の概要、サービスの内容などを掲載し、大和市保育家庭課の相談窓口に置いています。また、公益社団法人かながわ福祉サービスのホームページに情報を提供しています。</p> <p>・園利用希望者からの利用条件やサービス内容についての問い合わせに対しては、園長がパンフレットに沿って説明しています。利用希望者からの電話での見学申し込みに対しては積極的に対応し、約50件のアンケートを回収しています。</p> |
| <p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>  | <p>・業務マニュアルの中に「実習生・ボランティアガイドライン」があり、ボランティア希望の申し出があれば受け入れを検討する準備ができていますが、未だ受け入れが実現していません。</p> <p>・実習生を受け入れ、園長が受け入れ担当者として実習生および専門学校の担任と個別面談を行い、記録を残しました。実習生の希望に従い初回は3日間の見学、2回目は1～5歳児各クラスの担任の指導の下で5日間、実習生が希望する課題に関わる実習を実施しました。実習終了後に実習生が感想文を書き園長が個別面談の後で感想文にコメントを記入しました。</p> <p><コメント・提言></p> <p>・ボランティア希望者の受け入れの実現が期待されます。</p> |




評価領域V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|---|
| <p>V-1 職員の人材育成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の「保育士人材育成ビジョン」に基づき、人材の育成に取り組んでいます。職員は個人別年間研修計画および自己査定シートを基に年2回評価を行い、園長・エリアマネージャーとそれぞれ面談し、達成度を確認して次年度計画につなげています。 ・設置法人が階層別研修と自由選択研修の年間計画を作成し、職員は個々に年間研修計画を作成して研修に参加しています。非常勤職員も自由研修に参加ができる仕組みがあります。職員は自身が作成した年間研修計画に従って階層別研修、自由研修、外部研修を受講し、半年ごとに達成度を自己評価し園長が面接を実施して助言しています。 ・園長が毎月テーマを決めて実施する園内研修のうちマニュアルに関する園内研修には非常勤職員も交代で参加しています。職員業務マニュアルは事務所にあり、常勤・非常勤を問わずいつでも確認することができます。 |

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|---|
| <p>V-2 職員の技術の向上</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・職員は、自己査定と園長やエリアマネージャーとの面接で、具体的なサービスの見直しを含め、自己評価を行っています。職員は、大和市が主催する研修会に参加し、気になる子どもについては設置法人の発達支援チームや、大和市から派遣される発達支援担当職員から保育技術の指導を受けています。 ・年間指導計画の期（年4期）ごと、月間指導計画、週案、保育日誌に評価反省の記入欄があり、保育実践の振り返りを記入できるようになっています。職員は子どもの成長に合わせて指導計画を立て、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを確認しながら指導を継続するなど翌月の計画に反映させていますが、一部に形式的に流れている個別指導計画が見受けられます。 ・第三者評価の自己評価を実施する中で、園としての保育課程に沿った自己評価を行っていますが、園としての自己評価は公表していません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員は前月の振り返りで個々の子どもが育つ意欲や取り組む過程を確認し、一人一人の成長に合わせて次の個別指導計画を立てることが望まれます。 ・第三者評価とは別途に園としての自己評価を公表することが望まれます。 |

| | |
|--|--|
| <p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の査定シートがあり、経験・能力に応じた役割を期待水準として明文化しています。また、職員会議や昼礼などで、日常業務の改善提案が出され、事後の業務改善に役立っています。 ・園長は可能な限り現場職員に権限を委譲しており、園長不在時にはクラスリーダーの判断に任せて、事後、園長に報告することとしています。 ・年1回の園長面談、年2回のエリアマネージャーの面談があるほか、園長は随時、職員と面談し、満足度や要望を把握しています。 |
|--|--|

評価領域VI 経営管理

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|---|
| <p>VI-1 経営における社会的責任</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき法・規範・倫理などは業務マニュアルや就業規則で明文化しており、全職員は入社時研修により周知しています。 ・設置法人のホームページで園の経営、運営状況を公開しています。 ・設置法人にコンプライアンス委員会があり、園と職員を指導し、あわせて不正などを直接通報できるしくみを整えています。連絡先を連絡先を職員の更衣室に掲示しています。 ・設置法人での園長ミーティングで報告された他園の事例などを職員会議で話し合い、必要に応じてレポートを提出して職員のモラルアップを図っています。 ・設置法人のホームページにCSR・環境活動について記載し、園では屋上にソーラーパネルを設置したり、ゴーヤで緑のカーテンを作ったりと環境に配慮した取り組みを行っています。 ・節電を職員が実施することにより、子どもたちからも節電を意識した発言が出ています。 |
| <p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針と実際の保育との関係については、職員会議などで機会あるごとに園長が説明し、職員の理解を確認しています。 ・重要な意思決定にあたっては、運営委員会で説明を行うこととしています。今年度、夕食の提供代金の変更にあたり、関係のある保護者にお知らせを配付、運営委員会で説明、玄関に掲示も行いました。 ・設置法人で主任育成のための階層別研修があり、計画的に育成を行っています。昨年5月より主任が不在の状態で、主任の業務は園長が行っています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任が不在の為、園長が兼務していますが、主任クラスの職員を置き、スーパービジョンを実践するための職場環境の整備が期待されます。 |
| <p>VI-3 効率的な運営</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・事業運営にかかわる情報の収集・分析は設置法人の担当部署で行っています。 ・園長は地域の園長会議や設置法人での園長会議などで情報を収集し、昼礼や職員会議を利用して職員に周知しています。主任が不在である事について、改善課題として話し合っています。 ・園の中長期的な方向性を職員会議で話し合い、平成25年度～29年度までの長期計画を策定しています。 ・長期目標として「安心できる環境の中で、意欲と豊かな感性や人を思いやる心が育つ温かい保育」「一人ひとりの要求や欲求に柔軟に応じられる保育を目指します」「保護者との共通理解で連携を大切にする」を掲げています。26年度の計画の中で、一時保育の受け入れは特に地域ニーズに根差しています。 ・次代の組織運営に備えては設置法人で検討しています。 ・運営に関して、設置法人は関係する外部の機関や専門家などの意見を取り入れています。 |

利用者家族アンケート

施設名：アスク南林間保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数74名、全保護者66家族を対象とし、回答は36家族からあり、回収率は55%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、無回答を除き肯定的な回答が97%（満足56%、どちらかといえば満足41%）となっており、否定的な回答は3%（どちらかといえば不満3%、1名）となっています。

◇ 比較的満足度の高い項目

1) 日常の保育内容の遊びについての設問で、「クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているか）」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は100%、「園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについて」の回答は同92%と高い評価でした。

2) 日常の保育内容の生活についての設問で、「お子さんが給食を楽しんでいるか」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は100%、「給食の献立内容について」は同97%でした。

3) 職員の対応について、「あなたのお子さんが大切にされているか」、「保育園生活を楽しんでいるか」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は100%と高い評価でした。

4) 保育園の快適さや安全対策について、「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気」、「施設設備について」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）はそれぞれ98%、94%となっています。

5) 開設初年度、入園した時の状況の設問で「お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は94%でした。

◇ 比較的満足度の低い項目

1) 日常の保育内容の遊びについて、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」、「子どもが戸外遊びを十分しているか」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満の合計」はそれぞれ22%、14%となっています。

2) 園と保護者との連携・交流について、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満の合計」は17%、ありました。

3) 日常の保育内容の生活についての設問で、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は16%となっています。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

| 施設の基本理念や基本方針の認知 | よく知っている | まあ知っている | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 |
|-----------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|
| | 14% | 42% | 19% | 25% | 0% | 0% |

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

| 理念や方針への賛同 | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらともいえない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 |
|-----------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|
| | 70% | 30% | 0% | 0% | 0% | 0% |

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------------|-----|------------|------------|----|-----|-----|
| 見学の受け入れについては | 44% | 17% | 6% | 0% | 33% | 0% |
| その他: | | | | | | |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 36% | 31% | 11% | 0% | 19% | 3% |
| その他: | | | | | | |
| 園の目標や方針についての説明には | 33% | 50% | 0% | 0% | 17% | 0% |
| その他: | | | | | | |
| お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 60% | 34% | 0% | 0% | 6% | 0% |
| その他: | | | | | | |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 44% | 36% | 6% | 0% | 14% | 0% |
| その他: | | | | | | |
| 入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については | 42% | 42% | 6% | 0% | 10% | 0% |
| その他: | | | | | | |

問3 保育園に関する年間の計画について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--------------------------------|-----|------------|------------|----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 44% | 44% | 6% | 3% | 3% | 0% |
| その他: | | | | | | |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 36% | 50% | 8% | 6% | 0% | 0% |
| その他: | | | | | | |

問4 日常の保育内容について

遊びについて

| | 満足 | どちらかといえ ば満足 | どちらかといえ ば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--|------|----------------|----------------|----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど) | 53% | 47% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 子どもが戸外遊びを十分しているか については | 47% | 39% | 14% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど) | 56% | 36% | 3% | 0% | 5% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については | 31% | 39% | 19% | 3% | 8% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もてているかについては | 50% | 42% | 6% | 0% | 2% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては | 33% | 58% | 6% | 0% | 3% | 0% |
| | その他: | | | | | |

生活について

| | 満足 | どちらかといえ ば満足 | どちらかといえ ば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|------|----------------|----------------|----|-----|-----|
| 給食の献立内容については | 78% | 19% | 3% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| お子さんが給食を楽しんでいるか については | 69% | 31% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については | 53% | 39% | 3% | 0% | 5% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては | 56% | 36% | 8% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては | 31% | 31% | 8% | 6% | 19% | 5% |
| | その他: | | | | | |
| お子さんの体調への気配りについて は | 64% | 28% | 8% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には | 42% | 36% | 10% | 6% | 6% | 0% |
| | その他: | | | | | |

問5 保育園の快適さや安全対策について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------|------|------------|------------|----|-----|-----|
| 施設設備については | 61% | 33% | 3% | 0% | 3% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については | 56% | 42% | 0% | 0% | 2% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 56% | 36% | 6% | 0% | 0% | 2% |
| | その他: | | | | | |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 44% | 42% | 11% | 0% | 3% | 0% |
| | その他: | | | | | |

問6 園と保護者との連携・交流について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|------|------------|------------|----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 42% | 39% | 11% | 6% | 2% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については | 53% | 35% | 6% | 6% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 42% | 44% | 8% | 0% | 6% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 39% | 47% | 0% | 3% | 11% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 47% | 42% | 8% | 0% | 3% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 保護者からの相談事への対応には | 58% | 34% | 8% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 53% | 39% | 3% | 3% | 2% | 0% |
| | その他: | | | | | |

問7 職員の対応について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------|------|------------|------------|----|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 67% | 33% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 64% | 36% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 25% | 36% | 0% | 0% | 28% | 11% |
| | その他: | | | | | |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 61% | 33% | 6% | 0% | 0% | 0% |
| | その他: | | | | | |
| 意見や要望への対応については | 31% | 53% | 6% | 6% | 2% | 2% |
| | その他: | | | | | |

問8 保育園の総合的評価

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 |
|--------|-----|------------|------------|----|-----|
| 総合満足度は | 56% | 41% | 3% | 0% | 0% |

観察方式による利用者本人調査

アスク南林間保育園

◇0歳児

室内遊び

職員が牛乳パックで手作りした遊び道具を車に見立てて子どもが押しています。ぬいぐるみを乗せて押すと「赤ちゃんとお散歩だね」、そのぬいぐるみを抱きしめると「ネンネンだね」と子どもの気持ちを代弁しています。運動会の親子競技で使用したミルク缶で作った手押し車も子どもたちのお気に入りです。職員が見守る中、子どもたちは安心した様子で遊んでいます。給食の時間がくると、職員は「おかたづけ～」と歌いながらおもちゃをしまえます。子どもたちも自分でおもちゃをトコトコ運び、しまえるものは自分でしまっています。その姿を見て職員は「はい、上手にできました」と言っています。

排泄

給食の前におむつを替えますが、できる子は自分でおむつを下ろします。「ぬぎぬぎ上手」と声をかけます。おむつが濡れていてもいなくても便器に座ります。職員が10まで数え、そのときにタイミング良くおしっこが出ると、職員は「すごいな～」「わ～出た出た」と大拍手で子どもをほめています。

昼食

深めの皿にごはんとおかずを一緒に盛り付けています。スプーンを器用に使いますが、片方の手で手づかみもします。「ごはんもぐもぐしようね」と職員がさりげなく声をかけます。一人がぐずり出し、職員に食べさせてもらおうと、それを見ていた子が「○○ちゃんも」と甘えます。食べさせてもらおうと「もっかい（もう一回）」とおねだりです。

◇1歳児

散歩

くつを履こうと格闘している子がいます。職員が「○○ちゃん、これ反対だ、こっちだよ」と手伝おうとすると、「自分で」と頑張ります。職員は見守り、やっと履けると「はい、よくできたね～」とほめています。「自分でできた」と子どもは自慢げです。「今日は電車を見に行きます」と園を出発します。先日の散歩で猫を見かけた場所に来ると、子どもたちは覚えていて「ネコ～」「ネコ～」と呼びかけ大騒ぎになり、職員が「しー」と注意しています。線路沿いは車が通りますが、職員は注意をしながらゆっくりと子どもを歩かせています。電車が何台か行き過ぎました。通り過ぎる際の大きな音に負けないように、子どもたちも「わー」と大声を出しています。

昼食前

昼食の準備をしている間の時間に、おひなさまの歌を歌っています。職員が壁を指し「あれ、みんなが作ったおひなさま。〇〇先生が飾ってくれました。おうちの人にも教えてあげてね」というと、子どもたちは「はい」と元気に答えます。次は絵本「どうぞのいす」の読み聞かせです。みんな集中して静かに聞いています。

午睡

保育室のカーテンを引き適度な暗さにし、オルゴールの音楽をかけます。職員にお腹や背中をトントンされたり、さすられるとすぐ眠ってしまう子がいます。なかなか入眠できず、もぞもぞしている子もいますが、職員はそばで見守っています。

◇2歳児

リトミック

専任講師の指導の下、子どもたちはやさしいのんびりネコに変身してニャーニャーしたり、別の音楽に変わるとチューチューとネズミに早変わりします。「ネコ」「ネズミ」と言いながらタイコを叩いたり、赤や青の卵型のボールをお互いにコンコンと打ち合わせあったりとリズムを楽しんでいます。

昼食

給食のうたをみんなで歌ったあと、「お当番さんお願いします」と声をかけられると当番が前に出て「それではご一緒にいただきます」「いただきます」とあいさつをします。その後、職員が配膳しています。「先生見て」と頑張って食べたことを職員にアピールする子どもにも「わー、あと少しだね」「大きなお口でどうぞ」と職員が声をかけます。苦手な献立で食が進まない子どもには少し職員が食べさせて、「かぼちゃは自分で食べてみようか」と優しく促します。食欲のある子どもは自分から「おかわり」と伝えています。

午睡前

食べ終わった子どもからごちそうさまをして、トイレにいきます。その後、洗面台脇の椅子に座って歯みがきをし、職員に順番に仕上げ磨きをしてもらっています。自分でパジャマに着替えた後は、絵本を読んで全員の午睡の準備が整うまで待っています。別のクラスから借りてきたお薦めの絵本「はなをくんくん」「まっくろめがね」の2冊を職員から読んでもらい布団に入ります。

◇3歳児

昼食

少し寒い中、屋上で鬼ごっこをした後、食事が始まりました。鼻をかんだり、咳をする子どもがいます。職員は子どもの食事の様子を観察しながら、食べるのが遅い子どものオムレ

ツを細かく刻んで食べやすくしたり、声をかけたりしています。子どもは主菜を完食してから、スープを飲み、最後にパンを食べ、ヨーグルトを食べてからお茶を飲むというように職員が（フルコースディナーのように）一品ずつ食べる順番を伝えています。

◇4・5歳児

合同の散歩

体調不良により散歩に参加できない4歳児の子ども2名は、職員1名が付き添い、一時保育室で遊んでいます。散歩に出かけた子どもたちは、公園に到着するまで後半は、小川を暗きょ化した緑道を歩くので、たまに自転車が行き交うだけで安心して散歩ができました。緑道に面した家の庭に出ていた人に職員が「おはようございます」と声をかけています。すれ違う近隣の人にも子どもたちは元気よく挨拶をしています。ふざけて歩く子どもへ職員が注意しています。公園に到着し、職員から遊ぶときの注意を聞いた後、子どもたちは木馬、アスレチックなどの大型遊具で思い思いに遊び始めました。子どもたちに人気があるアスレチックはデッキからラセン状の滑り台、縄ばしご、鉄棒のいずれかで降りるようになっています。鉄棒をつたって降りるのは難しそうでしたが皆上手に降りることができます。帰園後に、子どもが玄関ロビーに掲示してある、ドラえもんの顔が描かれたケーキの写真を指差して、「これはお誕生会で出るケーキだよ」と、調査員に自慢げに教えてくれました。

◇4歳児

昼食

当番の子どもが2人前に出て、給食の歌に続いて「いただきます」の挨拶をして食事が始まります。鼻かぜを引いている子どもが数人おり、鼻をかんでいます。

◇5歳児

遊び

散歩から帰園した後に食事の用意ができる12時まで屋上園庭で遊ぶことになりました。職員が見守る中、子どもは元気よく駆け回っていました。

昼食

5歳児の保育室は調理室のカウンターに面し、カーテンを開けると直接配膳ができるようになっています。手洗いやうがいをした後で、2名の当番の子どもが台布巾でテーブルを拭き始めました。当番が「これから食器を配ります」と元気な声で伝えると、ほかの子どもたちが「お願いします」と元気に声を合わせて答えます。2名はカップと箸を配り始めました。その後、子どもたちは順番にカウンターの所に行って自分のご飯を盛り付けました。調査員が座った隣の子どもの家族旅行のハワイで楽しかった話をしてくれます。ほかの子どもが壁に飾ったひな祭りの作品を誇らしげに指さした後で、窓側にも天井から吊り下げられたひな人形の作品があることを教えてくれます。公園と屋上園庭での遊びの後、子どもたちは意欲

的に食事をしています。職員が「〇〇ちゃんは何時も食べるの早いのに今日は遅いね」と声をかけ、調査員が「今日はたくさんお話をしてくれたから遅くなったんだよね」と答えると、職員も子どもも笑顔を返してくれました。

【受審の動機】

運営主体の理念として、「利用者に本当に求められるサービスを提供すること」を掲げており、利用者調査を元に保護者の真のニーズを把握し、その想いを日々の運営に反映させるべく、今回初めて評価受審に臨みました。

また、開園から約 1 年半が経過したこの時期に、園の課題を明確にし、より良い園運営をしていくためのとても良い機会として捉えました。

今後も常に利用者のニーズに添い、選ばれ続ける施設でありたいと考えております。受審にあたっては、職員一人一人が趣旨を理解し、取り組むことが出来ました。

【受審した結果】

この受審をきっかけとして、職員全員が自分自身の保育や園全体の運営について、基本的なことから改めて見つめ直すことにより、自己評価の大切さを実感することができました。また、評価結果をもとに、保育の役割・機能といったものを再認識することができ、職員一同なお一層保育内容の改善・充実を図り、より求められる保育園を作っていこうという決意いたしました。

今年度は、開園 2 年目の年であったため、園の土台作りの時期と考え、保育環境・保育内容の充実に力を入れてまいりました。そのため、日常の保育内容について、利用者満足度が高いという結果は、大変嬉しく、励みとなりました。

今後は、運営面での安定化を図るべく、職員の勤務の安定化と質向上に取り組んでいきたいと考えております。

最後に、今回の第三者評価の受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、そしてご多忙にも関わらず、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。